

(別紙4(2))

事業所名 グループホームなごみ

## 目標達成計画

作成日: 平成 22年 4月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	・終末期・重度化に向けた方針を職員はもちろん、法人全体で考え、体制作りをする必要性がある。	・終末期・重度化ケアを職員で全員が理解する。 ・体制作りを考える	・終末期ケアについての内部研修の計画を行う。 ・今できるケアを職員全員で検討する。 ・看護師の配置を含め体制作りの検討を行う。	6ヶ月
2	20	・その人らしい居心地の良い居室作りができていない部屋もある。	・自分の住まいと感じられる居室作りに本人主体として、職員とともに作る。	・担当スタッフを中心に本人を含め、居心地がよい空間づくりの検討を行う。	6ヶ月
3	9	・思いや意向の把握に努めてはいるが、職員本位の場面がみられる時がある。	・本人の思いや希望を引き出し、自己決定できるように働きかけ、安心して過ごせるように支援する。	・利用者に付き添い、様々なスキルで利用者の思いや意向の把握に努める。	6ヶ月
4	10	・スタッフ同士の声かけ、確実な申し送り、情報伝達が欠けているときがある。	・利用者がスタッフ同士の見守りや声かけで、安心して過ごすことができるよう対応する。	・確実な情報伝達を行う。 ・入居者の状況把握に努める	6ヶ月
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。